

平成25年度 9月 経営の重点

【通うだけで楽しくてしかたがない、通うだけで助け合う力が育つ「伝説の学校」をつくろう！】

- 学校教育目標・・・「自主貢献」－自主的に判断・行動し、助け合える生徒の育成－
- 目指す生徒像・・・的確に判断できる生徒，自主的に行動できる生徒，助け合いができる生徒
- 目指す教師像・・・一番好きになる教師，気持ちがわかる教師，学び続ける教師
- 3つの重点目標・・・プライド，研究&課題，連携

<1学期の生徒アンケートより>

- ① 学校教育目標を覚えたとする生徒：86%（76%93%88%）<前年度比±0%>
- ② 楽しく部活動に取り組んだとする生徒：85%（92%84%80%）<±0%>
- ③ 楽しく学校行事に取り組んだとする生徒：89%（86%92%89%）<±0%>
- ④ 分からないときに「教えて」と言えた生徒：79%（83%78%77%）<±0%>
- ⑤ 給食を残さず食べたとする生徒：79%（75%85%69%）<-5%>
- ⑥ 学校生活を楽しいと感じた生徒：84%（84%83%84%）<-4%>
- ⑦ 授業が「わかる・できる」と感じた生徒：71%（77%72%64%）<-4%>
- ⑧ 清掃に一生懸命取り組んだとする生徒：76%（75%85%69%）<-4%>
- ⑨ 積極的に委員会・係活動に参加したとする生徒：79%（81%75%80%）<-3%>
- ⑩ 歌声活動に積極的に参加したとする生徒：79%（71%86%81%）<-2%>
- ⑪ 30分以上の家庭学習ができたとする生徒：71%（77%72%64%）<+31%>
- ⑫ Kタイムに一生懸命取り組んだとする生徒：81%（84%78%81%）<+5% ※写本>
- ⑬ 進んで自分から挨拶ができたとする生徒：75%（81%81%64%）<+3%>
- ⑭ 集団生活のルールやマナーを守ったとする生徒：84%（80%85%88%）<+3%>

※（ ）内の%は、左から1年、2年、3年の数値

ここに提示された項目や数値の意味をどのようにとらえればよいのでしょうか？提示された項目に対する数値（事実）から何を思い、どう行動化するか、これが大切です。ところが事実の捉え方は人によってかなり違います。例えば学校生活を楽しく感じた生徒について考えただけでも、「84%もいる」「84%しかいない」「16%も楽しくない」「4%も下がった」「4%しか下がっていない」「学校生活の何を楽しいと感じているのだろうか？」「本当に楽しいのかなー？（事実かなー？）」というように様々な捉え方ができます。でも大切なのはどう捉えるかということより、何をするかなのです。「84%をより増やし、16%をより減らすために何をするか」なのです。それぞれ担当者として何をするかを考え、共通行動を組織していくことが、今後の課題となります。

評価とは、改善のために行われるものです。通知表の行動の記録に○を付けて評価をする欄があります。担任の先生は何をもって行動の各項目に○を付けているのでしょうか？生徒や保護者に説明できますか？○が付くよう行動改善することをねらっているのですが、○だけ付けて後は何もしないというのでは意味がないのです。通知表の行動評価も学校のアンケートもQ-U検査もやりっ放しではダメです。結果を共有し、生徒や保護者に説明し、手立てを講じるためのものでなければなりません。どこがよくてどこが要改善なのかをしっかりと分析、把握し、具体的なケアをしなければなりません。学級の課題は何で、学年の課題は何で、部活の課題は何で、委員会の課題は何で、授業の課題は何か、それぐらいは共通理解し、見通しを持って取り組んでいきたいものです。先生は何をしますか？

〔9月の重点〕「試行&笑顔創造」

「明るい笑顔をつくる！」どんなに苦しいときでも笑顔を忘れず、前向きに改善する強さを意識して全教育活動に取り組んで欲しいと思います。苦しいときほど笑顔で乗り切らなければよい結果は得られません。いろいろな挑戦や試行も前向きな気持ちや明るさから生まれてくるものです。うまくいくまで挑戦することが大切なのです。失敗は成功の途中です。

今月は、一年で最も充実した学期のスタートラインに当たります。1学期にずれたゴールのイメージを再修正できる絶好の機会です。2学期最初の授業、最初の清掃、最初の聴く姿勢、最初の給食、最初の部活動、最初の係活動等をどう評価し、返すかが鍵です。1学期に何が問題だったのかを想起し、具体的な改善策を展開していくのが9月スタートの3日間です。誰でも三日は続くものです。「目指せ！三日坊主」です。四日目に意識し、そこからまた三日坊主を目指していけば2週間はすぐです。生徒のよい姿を沢山拾い上げ、具体的に改善していきましょう！

○ **ルールとリレーションの再構築**

年度当初に共通理解したマナーやルールについて再確認し、その必要性や意味を十分に理解した上でできるまで取り組むことが大切です。

- ・「学級ルール」…挨拶、学年や学級での約束、朝、帰りの会、給食、清掃、係、委員会活動等
- ・「授業ルール」…挨拶、学び合いのルール、ノートづくり、Kタイムの取り組み等
- ・「部活ルール」…挨拶、声掛け、練習ルール、校外でのマナー等
- ・「人間関係づくり」…Q-U検査の活用、いじめ撲滅、道徳・学活でのSGE、SST等

○ **体育祭で笑顔を創る**

「湖北中の体育祭でみんなを笑顔にする」これが体育祭を実施する意図です！地域の方々や保護者の皆さんを笑顔にし、元気を届けられる行事のひとつが体育祭です。公開していることの意味をしっかりと捉え、生徒も先生も全校が一体となって、一所懸命取り組む姿をつくっていきましょう！特に3年生はリーダーシップを発揮しながら学級や学年としてのまとまりを作っていかなければなりません。その後の進路実現を個々の問題としてではなく、学年みんなで解決すべき課題として取り組んでいくためにも一体感を体験する必要があります。組織で指導・支援して行きたいと思います。

○ **課題解決型の授業推進**

少し難しい学習課題をわかりやすい言葉で表現し、「教えて」という投げかけから学び合いが始まり、課題を解決していく授業の推進です。自分の考えを相手に聴いてもらい、対話することで課題を解決していく授業が主流となっています。授業そのものを改革していかなければなりません。コミュニケーション能力育成の推進や言語活動の重視、表現力が思考・判断の観点に加わったこと等、改訂の全てが、授業改革に対応するために打ち出されていると考えます。先生が一方的に説明して終わる講義式の授業から脱却し、生徒の学び合いを授業の中心に置き、課題解決する授業にしていきたいと思います。そして授業が終わったときに、全員が「わかった」「できた」といえる授業をつくっていきましょう！

- ・学習課題を明確し、青色チョークで囲む！（1時間で目標に到達したか評価できる課題を設定する。）
- ・生徒の言葉でまとめ、赤色チョークで囲む！（到達した内容を表現させる。）
- ・グループによる学び合いの時間をつくる！（「教えて」「いいよ」が言える教室をつくる。）
- ・聴き合う関係をつくる！（入れ込むのではなく、引き出すケアのある学びをつくる。）